

平成25年度第1回千葉市病院運営委員会議事録

1 日 時 平成25年10月28日（月）午後7時から午後8時30分まで

2 場 所 千葉市役所 8階 正庁

3 出席者

(1) 委 員 入江康文委員、斎藤博明委員、金子充人委員、金親肇委員、
宮崎勝委員、増田政久委員、小林繁樹委員、木田達蔵委員、
吉田由枝委員

(2) 事務局 守屋病院事業管理者

[病院局 経営管理部]

島田経営管理部長、肥川経営企画課長、古川管理課長、岩田総括主幹、
谷管理課長補佐、須田担当課長補佐

[病院局 市立青葉病院]

田中院長、寺野副院長、岩崎副院長、村上診療局長、安見薬剤部長、
久保看護部長、御園事務長、行木医事室長

[病院局 市立海浜病院]

太枝院長、宇津木副院長、北副院長、金澤診療局長、志村薬剤部長、
勝山事務長、加藤医事室長

[保健福祉局健康部]

豊田健康部長、神崎健康企画課長

(3) 傍聴者 0名

4 会議進行

事務局から、新委員及び事務局側出席者の紹介を行ったのち、議事に入った。

5 議事の概要

議題（1）平成24年度病院事業報告について

事務局から、平成24年度の両市立病院の事業概要について説明。

【質疑応答】

<委員長>

両市立病院を受診する全ての患者が紹介状を持ち、その患者を逆紹介するのが両市立病院の先生方の負担を減らす理想的な方法だと考えるがいかがか。

<事務局>

医療資源が限られている中、他医療機関との棲み分けをして、専門性が高い患者を市立病院が診療するなどの病診連携をより一層進めていきたい。がん診療連携パスの観点からも、可能な限り患者さんを紹介元へ逆紹介する努力をしている。

<事務局>

紹介状を持たない新規患者が多く、外来患者の診察が医師の負担となっている。市立病院では、できるだけ紹介状を持った患者や専門性が高い患者を診て、逆紹介をすることで医療機関の役割分担を進める。

<委員>

海浜病院の公開研修で、院内の出席者数が非常に多いが、ここには、受付など事務職員も含まれるのか。また、公開研修後の職員の意識に変化はあったか。

<事務局>

この公開研修は、従来の医師だけを対象とした従来のカンファレンスとは異なり、医療職以外の事務職員も参加している。海浜病院は平成25年8月に地域医療支援病院の承認を受けており、その資格要件の一つとして、近隣診療所等の医師に対し、医療情報の広報や研修を行うこととされている。その新しい試みとして公開研修を始めたが、院内出席者が大半を占めている。出来るだけ多くの院外の医師に出席してもらいたい。

<委員長>

開業医の研修会や研究会は、年間600回程度開催されており、院外医師の出席率の低さに影響していると考えられる。

<委員>

「入院が必要な救急患者を断らない」という取組みの成果が出ており素晴らしいが、救急患者数が増加すると紹介率も上がるはずだが、青葉病院の紹介率はそれほど上がっていないのはなぜか。

<事務局>

紹介状を持たない外来患者数も増加しており、紹介率の分母も増えていることから、大きくは、紹介率は上昇していない。

<委員>

海浜病院は整形外科の入院機能を青葉病院に集約したことを考慮すると、努力していることが数字として読み取れるが、診療科によって程度に差があるのか。

<事務局>

平成23年度と平成24年度を比較すると、整形外科を除くすべての診療科で収益と入院患者数が増加している。

<委員>

救急処置スペースが手狭となったため、救急処置棟の整備に着手したとあるが、これは蘇生処置等のスペースを確保するという事か。

<事務局>

現在、救急処置室は2室しかなく、同時に多数の救急患者が来ると対応が困難となる。そのため、診察室を2室、救急処置室を2室確保するための整備である。

<委員>

整形外科の入院機能を海浜病院から青葉病院へ集約したことで、どのような成果ができたか。

<事務局>

集約により、青葉病院には院長を含め整形外科医が14人在籍し、手術件数は以前の青葉病院と海浜病院の合計を超える件数に増加した。救急医療に関しては、青葉病院整形外科は週5日、2次救急待機をしているが、医師数が少ないと翌日の診療の負担となるが、

医師の増加により、負担を軽減でき、昼間の入院が必要な救急車搬送患者を受け入れる体制がより整備されたといえる。

議題（２）平成２４年度決算報告について

事務局から、平成２４年度の病院局全体及び両市立病院の決算内容の報告。

【質疑応答】

<委員>

救急医療に力を入れていることから、未収金が問題となっていないか。

<事務局>

滞納額として、概ね６千万円前後発生している。

<委員長>

救急医療は、未収金発生に繋がりがやすいが、市民の安心のためにも対応する必要がある。

議題（３）「新千葉市立病院改革プラン」の進捗状況等について

事務局から、両市立病院の平成２４年度の経営指標について、主にプランと対比で説明し、次にプランに掲げている取組事項について、現在までの進捗状況を説明。

【質疑応答】

<委員>

青葉病院は看護師不足と言われているが、青葉看護専門学校の卒業生が、優先的に青葉病院に就職することはできないのか。

<事務局>

青葉看護専門学校は、千葉市立ではないため、市立病院を優先的に扱うことはできない。そのため、青葉看護専門学校からの看護師確保にも苦労している面がある。

青葉看護専門学校の卒業生は年間約８０人であり、そのうち１０～２０人程度の卒業生が市立病院に就職している。

以上

問い合わせ先 千葉市病院局経営企画課
TEL 043-245-5744